

令和3年8月17日(火)

東北地方整備局
北陸地方整備局
第二管区海上保安本部

～八戸港沖で座礁した貨物船に関する取り組み～

おおがたしゆんせつけんあぶらかいしゆうせん はくさん
大型浚渫兼油回収船「白山」の流出油回収作業の継続について

令和3年8月11日(水)午前、八戸港内で錨泊中のパナマ船籍貨物船「CRIMSON POLARIS」が座礁により油が流出し、第二管区海上保安本部から東北地方整備局に対する防除措置の要請を受け、大型浚渫兼油回収船「白山」（北陸地方整備局所属）が、8月13日（金）から現地海域において、流出油の回収作業を継続しております。

記

【8月15日(日)の作業状況】

油回収作業：7時30分開始～16時30分終了（海水分を含む油水 約1,550m³）

【8月16日(月)の作業状況】

油回収作業：6時35分開始～15時30分終了（海水分を含む油水 約7,100m³）

【8月17日(火)の作業状況】

油回収作業：5時50分開始～15時00分終了（海水分を含む油水 事後に判明）

※8月14日（日）までの状況は「記者発表：大型浚渫兼油回収船「白山」の流出油回収作業状況について」参考

なお、日々の作業日報は、東北および北陸の各地方整備局ホームページより確認出来ます。

＜東北地方整備局の災害対応状況＞

URL：<https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/saigai-info/top.html>

＜東北・北陸地方整備局 港湾空港部＞

(東北)URL：<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/>(北陸)URL：<https://www.pa.hrr.mlit.go.jp/saigai/>

〈同時発表記者クラブ：北陸地方整備局管内各県政記者クラブ、専門紙、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課長 小岩、 港湾空港防災・危機管理課長 似内
(022) 716-0004 (022) 716-0024

国土交通省 北陸地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課長 伊賀、 港湾空港防災・危機管理課長 奥田
(025) 280-8761 (025) 280-8759

第二管区海上保安本部

警備救難部 環境防災課長 田中
(022) 363-0111

■作業エリア



■状況写真



流出油回収作業状況（「白山」）



流出油回収作業状況（「白山」船上から）



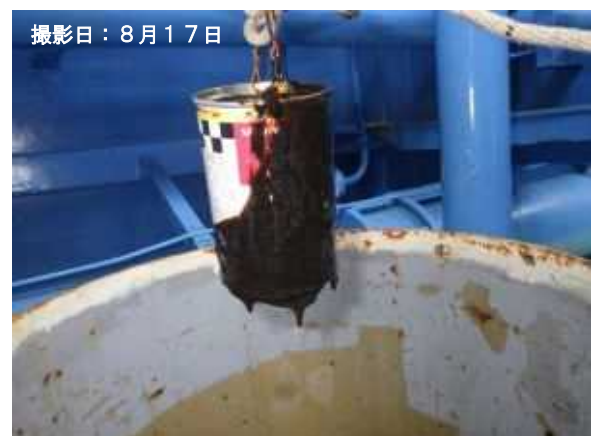
「白山」油回収機



流出油回収作業状況（左:C号 中央「白山」）



流出油回収作業状況（「白山」正面）

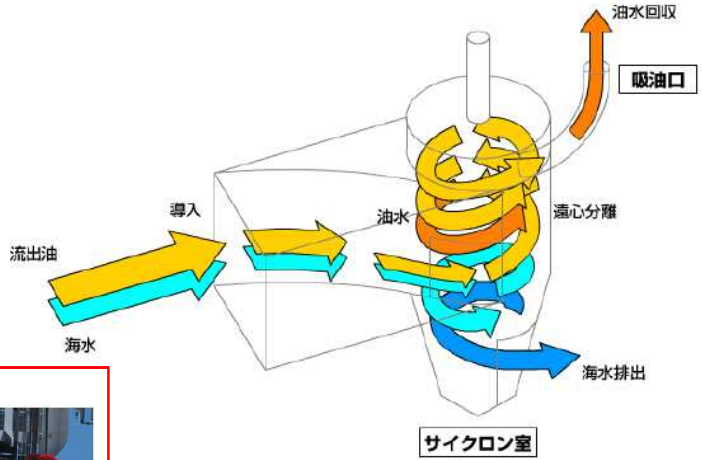


油水槽に回収した流出油

【参考】大型浚渫兼油回収船「白山」油回収の仕組み

1. 油回収装置

舷側設置式油回収機は、大型の油回収装置を水面に降ろし、油水をジェット集油装置で回収機に誘導し油水を後部のサイクロン室内で遠心分離し、油分濃度の高い部分をポンプで吸い上げ回収します。



2. 回収油水槽

「白山」には、左右に各3槽の回収油水槽を設けており、収容量は 1,530m³ である。

油回収装置で回収された油水は、下図のとおり、始めに No1 回収油槽に貯留され、No1 に油水が一定量貯留された後、No2、No3 に貯留される。

この構造により No1 に油分濃度の高い油水が貯留され、No3 には油分濃度の低い油水(海水)が貯留されることとなる。

